

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年2月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100781
法人名	社会福祉法人 翔風会
事業所名	グループホーム つわぶき
所在地	鹿児島県鹿児島市喜入町6987番地 (電話) 099-202-0080
自己評価作成日	平成26年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年1月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・主治医は行事、入居者の受診時落ち込んでいる時にマジックで笑いを促してくれます。
- ・1つの建物に特養があり、入居者交流が自由盛んである
- ・医療法人・社会福祉法人がつながって会議や行事等を開催している
- ・小さい畑から3階まで緑のカーテンをゴーヤ・小豆・風船蔓で作成したゴーヤは毎日のように調理して頂きました。小豆は1月11日善哉地域の方、家族もすごいですねの言葉でした。
- ・他の部所、特養スタッフの交流援助が素晴らしいです。
- ・屋上から涼しげに夏の花火大会を観賞できる花火が頭上で見れます。
- ・隣の喜入小学校4年生学習発表を交流室で発表、高齢者と合奏

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、特別養護老人ホームと同じビルの1階に位置し、母体医療機関が隣接し24時間医療連携体制や緊急時の対応などの連携が取られており、ホームの看護師配置と共に本人や家族の安心に繋がっている。
- ・ホームの周辺には、小学校や市役所の支所を始めとする公共機関等があり、利便性の高い地域で、小学生や住民との交流が行われている。
- ・毎月のつわぶき便りは、利用者一人ひとりの個別便りを作成し家族へ送付している。面会受付簿は個票としプライバシーの保護への配慮と共に家族の要望等を記入する欄を設けて、家族の意見等の把握に努めている。
- ・職員は笑顔で楽しく利用者に関わっており、利用者も明るく気さくに談話している。
- ・職員はサービス向上に向け各自が資格取得や研修参加に頑張っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送り時、理念に沿って、ケアをして行く為に3つの理念を唱えて仕事に入ります。	開設時に職員で独自の理念を作り、事務所やその他、数ヶ所に掲示している。毎朝の申し送り時に唱和し、職員や家族・利用者も共有し、理念に沿ったケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	集落の1ホームとして入会、地域清掃出席、地域六月灯、地域体育祭、三味線とお茶会、唄に地域住民、特養入所者交流、餅つき、門松作り、野菜、果物交換	自治会に加入し、地域行事の清掃活動や体育祭等、小学校の行事にも参加している。小学生の体験学習の受け入れも行っている。ホームの敬老会や餅つき等には、地域住民の参加がある。住民から野菜の差し入れがある等、相互に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議に理事長、施設長自治会長、交番署職員、消防署職員、長寿あんしん相談センター、民生委員、家族、入居者隣人に報告、助言頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>主治医がこれからの行政、認知症とは、インフルエンザの流行や予防、入居者状態や報告、交番署は交通マナ、消防署は避難方法、自治会長は地域行事等</p>	<p>会議は定期的開催し、ホームから事業運営の報告や外部評価結果の報告をしている。意見交換を行っており、会議での意見をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>介護保険更新、生活保護課との交流、期日前投票、おむつ申請</p>	<p>支所に出向いて、必要に応じ担当者と相談や情報交換等をこまめに行っている。市主催のケア会議に参加したり介護相談員の受け入れを行う等、日頃から協力関係を築く取り組みをしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月の勉強会で身体拘束について研修や話し合いを行っていません。点滴施行時も手足が自由に動ける様にしています。要介護5でもベット生活はさせない、</p>	<p>職員会議や研修会で、身体拘束廃止の理解を深めると共に、利用者一人ひとりの状況に応じた対応について検討し、正しい理解ができるようにホーム全体で取り組んでいる。日中の玄関の施錠はせず自由に過ごしてもらえるケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>毎朝の申し送り後に理念に沿って介護をしましように始めるので虐待はないと存じています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>入居者へも少しの事でも自力で出来るよう、日時を掛けて本人のペースに合わせている。食事摂取、トイレ排泄、畑の野菜収穫</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前にホーム見学やスタッフの状態等を見て頂き、契約書も一時持ち帰り、家族が納得され契約に至っております</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者へも少しの事でも自力で出来るよう、日時を掛けて本人のペースに合わせている。食事摂取、トイレ排泄、畑の野菜収穫</p>	<p>利用者との日常の関わりの中で、なんでも言える雰囲気を作っている。介護相談員の来訪時にも話を聞いてもらっている。家族とは面会時に職員から利用者の状況報告を聞き家族の要望等を聴いている。面会個別表に記入してもらったり、運営推進会議で意見を聞く機会もある。出された意見・要望は職員会議で話し合い運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体会議、職員会議で希望、要望等職員が自由に記録するノートを提示しています。相談室を設けています。</p>	<p>職員が自由に意見等を記入するノートが置いてあり、意見や要望を記入したり、職員会議などで自由に話し合いができるようにしている。管理者は個別に相談室で話し合うこともあり、出された意見等は運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>設備は整っています、ローカも車椅子が2台安全に通れる、入浴浴槽も安全に施行出来る、勤務内容も働きやすく区分しています、職員の苦情はない</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎朝申し送り時にスタッフが快適に思いやりを持って入居者に接遇するように伝えている 自分たちの国を作った先輩であること、自分が介護される立場ならどんなにして貰いたいかな常に申しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>浜田医院グループ会 翔風会全体会 地域研修会 医療法人グループホームはまゆうと励まし合い</p>		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>馴染みの物を持参して頂き普段より入居者の目線に合わせて考え努力をし、入居者の意見や要望には真摯に受け止めカンファレンス・職員会議で話し合い、いい結果をだしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>毎月入居者の健康状態、行事生活状況、担当者会議、モニタリング、ケアプラン説明</p> <p>定期的、臨時受診、検査報告</p> <p>金銭出納帳の確認等もうけています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前に本人、家族に環境やスタッフ対応を見て頂いてそれぞれに検討したうえで入居を決めてもらってきた。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者は私たちの先輩です様呼びさせて頂き、1人でも体調不良等があれば団体行動を中止して、全員で介護、看護につとめています。ドライブ中止した。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入居者一人に担当者スタッフ係決めて入居者家族の意見をまとめる。出来るだけ面会に来て頂くように毎月それぞれ面会人数を知らせています。今月は何名、全体は何名でしたと報告。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	何時でも面会出来ます。面会時にお茶・コーヒーお菓子を提供しています。拍手で迎え、拍手で送ります。手と手で又会うと言う事を告げています。	利用者は地元住民が多く、家族や友人・知人等の馴染みの人との交流が多い。家族との外出で墓参りや馴染みの店や関連施設の友人に面会に行くなど、関係性を大事にしている。交流を継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	何時もの会話ですが、ここであったのも何かの縁です 旨く行かない時はテーブルの席替えをしたり、これも難しいです、認知症の人様の難しさです。褒めて褒めちぎり		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	一度出会いしたら老衰するまで介護に努めたい気持ちですと常に言っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	これは難問です、厳しい時は、それぞれの居室で話を聞いたり入居者が全員揃った時に傷つかないように話したりしております。家族も交えて	利用者から日常のケアの中で、言葉や表情等から意向の把握に努めている。意思疎通が困難な場合は家族や関わりの中で職員で話し合い、思いを推測して、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	させて頂いているつもりです。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	Drの指示やPT士、家族の意見を聞き、本人ペースを目標にしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議、本人家族、Drその日のスタッフ、本人、家族の要望を元に、よりよい生活が出来るよう介護計画を作成しています。	利用者・家族の希望を取り入れた介護計画を作成している。月に1回はカンファレンスを行い職員で話し合っている。モニタリングは6ヶ月に1回実施し評価見直しをしている。状況変化時は即対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、チェック表、経過記録、内服ファイル、個人一覧ファイル、ケアプラン、カンファレンスファイル等		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院紹介、病院受診同行 商品説明や購入、日用品購入 年忌時の入居者送迎 書類提出代行、更新代行(生保)		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	防火訓練、地域清掃、運動会 夏祭り、六月灯、花火、三味線 小学生発表会、野菜集荷 工場見学 門松作り、地域住民と餅つき、避難時の食料づくり		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前に係り付けていたら、そのまま継続で構いません、本人家族の希望で現在は浜田医院で定期的に受診、検査等を施行 専門医受診時は主治医又は家族の申し出の病院に紹介をします。	利用者や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。母体医療機関が協力医療機関となっており、24時間医療連携体制ができている。専門医の受診時は職員も同行する等、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日夜入居者に異常や状態不明な時は看護師に報告、指示を受けている、また医院の看護師とも連携を取っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	隣接に浜田医院がありいつでも受診や往診をして貰えます。又協力医療機関あります。緊急時の対応も出来ています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の同意書も本人家族へ説明し文書で同意を得ています。	入居時に、重度化等の場合のホームの方針を説明し同意書ももらっている。職員も方針を共有しており、状況変化時は家族と話し合い、家族の希望に沿って、医療連携体制及び協力医療機関との24時間連携で終末期のケアに当たっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AED, (救急蘇生)を行っています。緊急連絡網作成し訓練時使用しておる、トランシーバーの利用		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災、災害時避難訓練を施行避難誘導経路に従って避難訓練をしております。運営推進委員・地域住民も参加をしてくれます。消防用設備点検6ヶ月1回</p>	<p>消防署の協力を得て、火災及び地震時避難訓練を夜間想定で地域住民の協力で定期的実施している。1回は運営推進会議を兼ねて実施し、住民の参加がある。災害時の備蓄も準備されている。水害の避難訓練を計画中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの声掛けに様呼びで呼ば差して貰っています。排泄がベツト、トイレ時もドアを閉めている。	ケアの方法や言葉使いが利用者の誇りやプライバシーを損ねないように関わりを行っている。様づけでの声かけや対応が丁寧で穏やかである。面会受け付け簿を個票にする等、家族を含めたプライバシーの保護に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者に受け持ち担当を決めて担当者が全て把握できています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	まず入居者に問いかけています 天気がいいがどうでしょう ゴーヤが沢山なりました収穫します、食べます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者はおしゃれな方が多いです、髪を染めたり、顔そりは全員、服を自分で着れる入居者は常にファッションショーこれで良いですかと聞いてくる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査や食べたい物を聞いています。	栄養士による献立で、嗜好調査で好みに配慮し栄養面も安心できる食事になっている。花見弁当や誕生会・外食等、食事が楽しみなものになる取り組みをしている。利用者の力量に応じて準備から片付けまで職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は管理栄養士にお願いしている。時に献立変更もあります 食事摂取量、水分補給量記録 摂取量が少ない時Dr、家族相談し本人の好きな物や高カロリー食材を探しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医、歯科衛生士の指導研修受け、入居者も治療と口腔ケア 口腔体操を受けています。食前食後の歯磨き施行中		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意、便意が分からなくても排泄チェック表を作成 立位困難でも介助でトイレ排泄を促している、徐々にわかり出す夜間でもトイレ排泄を行う	排泄パターンの把握により、日中は誘導によるトイレでの排泄等を促し、自立している利用者は昼夜とも維持できるよう、布パンツへの移行や昼間3時間程度のおむつはずしを行い、トイレ誘導するなど、利用者に応じた排泄の自立やトイレでの排泄に向けた支援を実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事摂取量・水分補給量野 チェック、食材に繊維のある物 PT, 散歩、リビング、ローカ歩行 他の部署訪問を行う。入居者に 合わせた下剤法		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人や家族の要望があれば 朝からでも入浴開始しています。	利用者の希望に合わせていつでも入浴できる支援をしている。浴室や浴槽も安全に気を付けている。リフトも準備され複数の職員による介助等で利用者や職員共に安心安全を重視した取り組みをしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者に合わせ言います。 眠剤は現時点では入居者は服用していない、徘徊や独語者見守りや、会話、水分提供		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医の処方指示に従い その都度入居者に渡したり、口の中に入れてやる、目薬はタイマーを掛け時間で施行		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	暦の日めくり、出来る仕事は声掛けしなくても入居者同士が声掛け会ってしておられます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者の気分に合わせて買い物散歩、家族との外出、かるかん工場見学、外食、年間行事に沿ってします。	天気のよい日は、近隣の散歩や関連施設への友人への面会・買い物等、利用者の希望に沿って実施している。年間計画での外出や外食など、外に出かけられるよう支援している。家族も墓参りや友人宅の訪問・買い物など積極的に外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持は本人が希望あれば自由にしています。家族確認をして貰っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	何時でも電話を掛けたい時はリビングにも電話機ありかけています。手紙代筆、年賀状は一応入居者全員送るにしています。今年で2回目正月		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	内装は、建築前に業者と色々検討し、設計して頂き空間はいいです。芝生の所を小さいが畑の希望を理事長にお願いして、夏は緑のカーテンとしてゴーヤで3階まで伸ばした。施設の入所者も感謝してくれました。	共用空間は明るく窓から日光が入り、窓の外は菜園が見え自然を感じることができる。廊下やトイレは車椅子でも十分な広さが確保され、温度や湿度等が適度に保たれている。利用者のスナップ写真や季節の花が飾られ生活感があり、居心地よく過ごせる配慮がしてある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者同士それぞれ自由に居室で話したり、ソファで対話したり、地域交流室で地域の人、施設の入所者とお茶飲みながら楽しまれている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>それぞれが自由に使いこなしております。</p>	<p>居室は洋室と和室があり、利用者の意向に沿って利用している。家具や仏壇・家族写真等が持ち込まれて、本人の好みに合わせた配置等で落ち着いて過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>室内は入居者と家族で配置し動かし方はスタッフが手伝う</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない